11月2日(月曜日)「衣食住の心配」

【新改訳2017】

ルカ　12•22-32

「だから、わたしはあなたがたに言います。いのちのことで何を食べようかと心配したり、からだのことで何を着ようかと心配したりするのはやめなさい。いのちは食べ物よりたいせつであり、からだは着物よりたいせつだからです。」(22、23節)

マタイの山上の説教でも記されている有名なことばです。

この後には、「空の鳥を見なさい、種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養ってくださるのです。あなたがたは、鳥よりも、もっとすぐれたものではありませんか」(マタイ6•26)と続きます。さらに、百合の花や野の草の例で神の守りと賜物は十分であることを教え、思い煩いをやめるように勧めます。そして、「神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます」(同 33 節)が結論です。

生かされている感謝を忘れ、衣食住の心配で心を乱すよう

な本末転倒はやめましょう。

～祈り～

父なる神さま。あなたが豊かに衣食住を祝福してくださっているにもかかわらず、なお心配したり、不満を抱きやすい私たちです。心配をやめ、感謝の心で歩めるように助けてください。

【学びのために】

マタイ 6•25-33、Ⅰテモテ 6•6-10 など参照。

「心配は身の毒」と一般にも言われることです。父なる神を信じている者は、心配しないで、信頼してよいのです。